

日にち 令和6年10月3日(木)

時間 13:30~

場所 庁議室

令和6年度

第2回 佐賀市DX推進本部会議

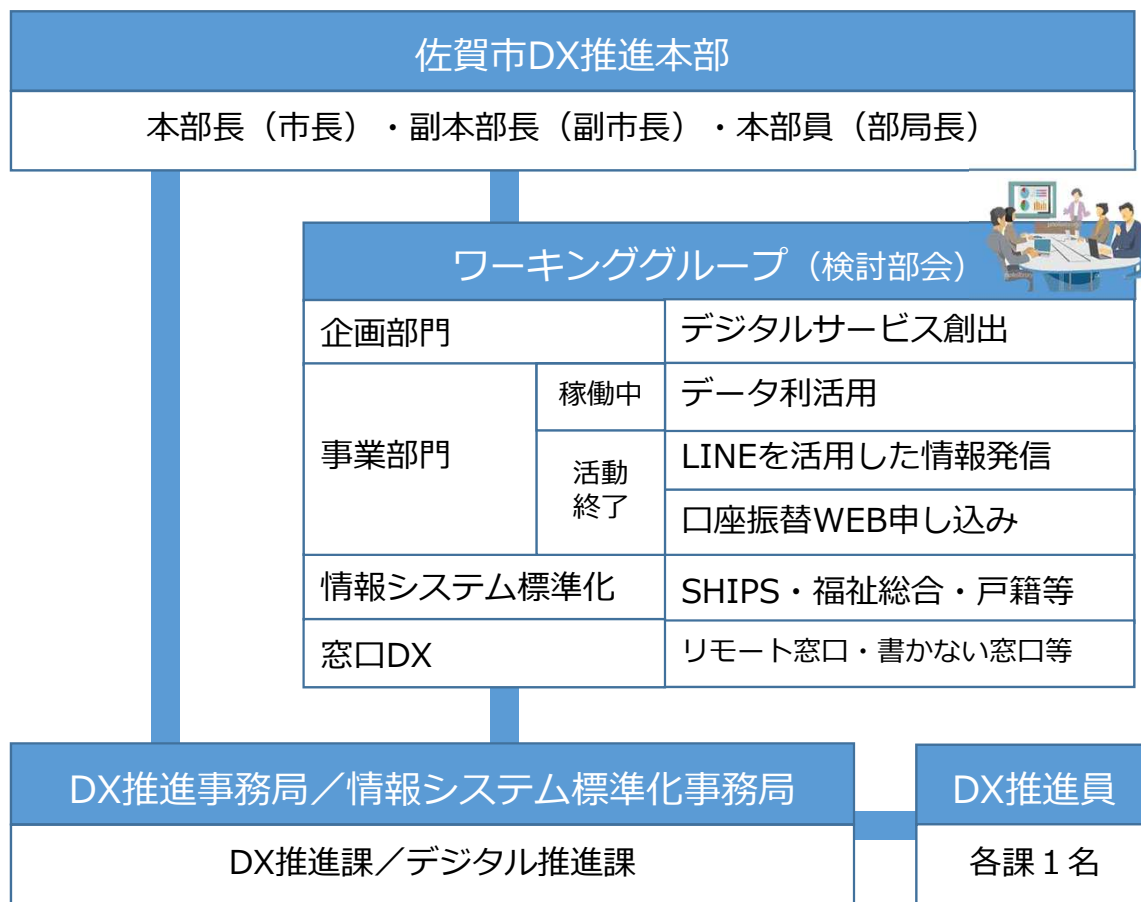
本日のアジェンダ

- (1) 令和6年度DX推進の取り組み
- (2) スマートシティ推進方針（仮）の策定
- (3) 基幹情報系システムの標準化
- (4) 今後のスケジュール

(1) 令和6年度DX推進の取り組み

佐賀市デジタル・トランスフォーメーション (DX) 推進本部

佐賀市のDX推進体制



所掌事務

- (1)DXの方針に関すること
- (2)DXの全庁的な推進及び総合調整に関すること。
- (3)このほか、DXを推進するために必要な事項に関すること。

過去の議題

- ・ DX推進方針の策定
 - ・ DX推進員、デジタルサービス創出検討部会の設置
 - ・ 各課のDX推進について（デジ田交付金関係等）
 - ・ 佐賀市公式スーパーアプリの構築について
 - ・ 基幹系情報システムの標準化
 - ・ 窓口DXの推進について
- 等

(1) 令和6年度DX推進の取り組み

「DX推進に対応する職員育成のための講演会」

ー上越市のDX推進・データ利活用によるDX人材の育成についてー

株式会社よしかわ杜氏の郷

代表取締役社長 野澤 朗 氏 (元上越市 副市長)

(7/17開催 対象：管理監督職)

《要旨》

- ・DXは、単なる技術ではなくマネジメントの手法
- ・成功の鍵は、経営層のマネジメントと「現場」の意識共有
- ・DXのメリットは、自分たちが持っているデータだけでなく、部署を超えたデータの活用ができる。
- ・既存の価値観（別の部署のデータが無くても仕事ができる）を変えること、また、今までのやり方とは変わってくるため、最終的には組織を変えてやるという意識が重要

「生成AI Microsoft Copilot デモ」 (三役部局長会議内)

日本マイクロソフト株式会社

教育戦略本部長 日本教育事業統括 兼 GIGAスクール政策室長 宮崎 翔太 氏

Worldwide Public Sector Education Industry Advisor DX/AX戦略室長 阪口 福太郎 氏

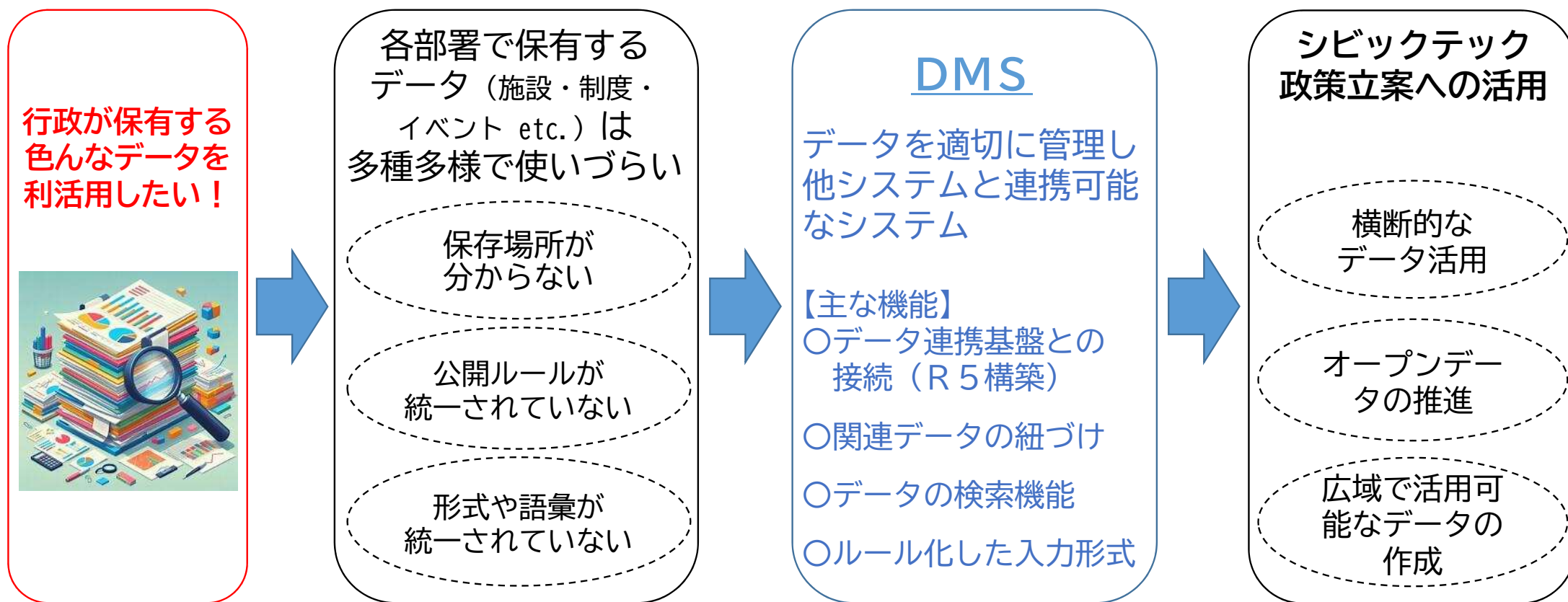
インダストリーソリューション事業本部ソリューションスペシャリスト 松永 真之 氏

(9/13開催 対象：三役部局長)

(1) 令和6年度DX推進の取り組み

データ・マネジメント・システム (DMS)

※令和6年10月から構築開始

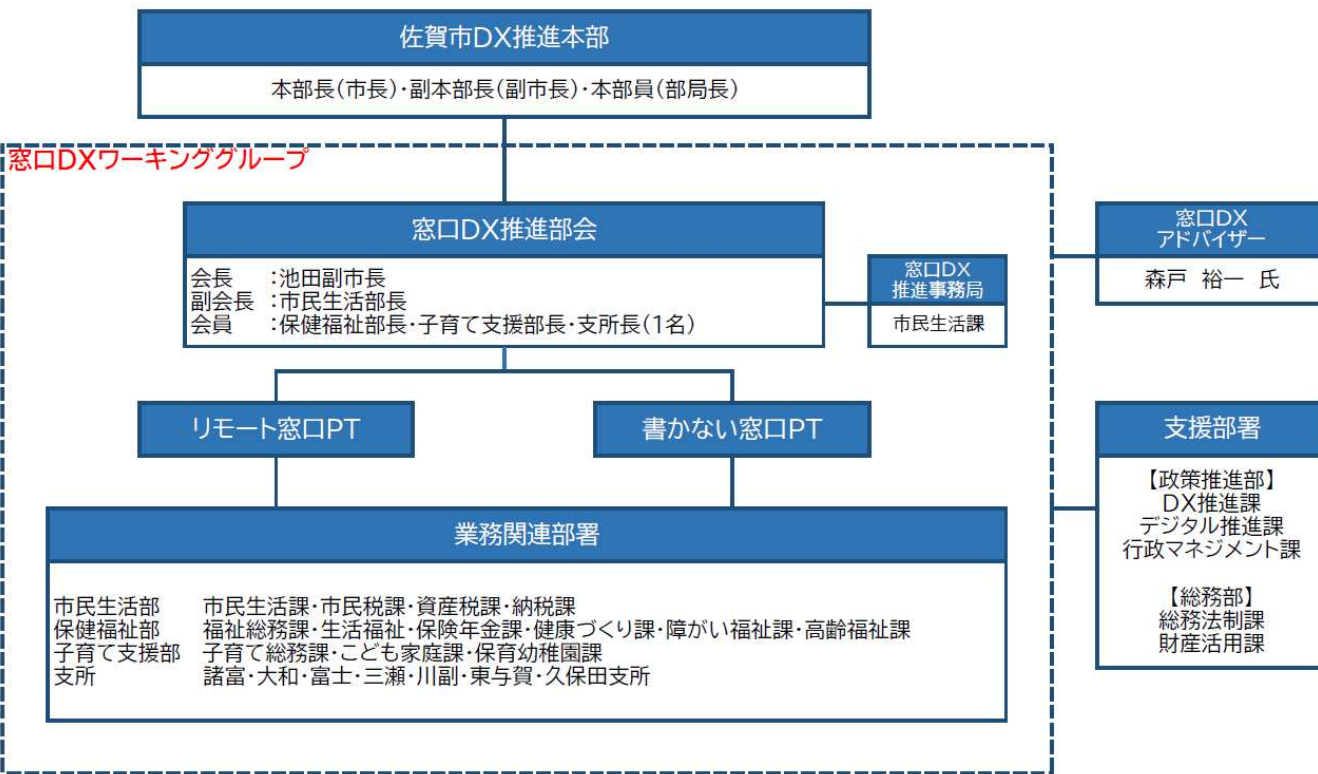


システム構築とともに、**データ管理ルールの作成と各部署が保有するデータの整理**

(1) 令和6年度DX推進の取り組み

窓口DXの取組

■ 窓口DXの推進体制



**部長、支所長のリーダーシップにより
部局横断的に窓口DXを推進中！**

■ 今年度の取組

R6.05.14 第1回窓口DX推進会議を開催

(確認事項)

- ・ 3部及び支所で窓口DXに取り組む
- ・ 「リモート窓口」「書かない窓口」はPTで検討
- ・ 1階フロア全体の最適化の検討

R6.08.20 第2回窓口DX推進会議を開催

(確認事項)

- ・ リモート窓口取組方針の確認
- ・ 発券機の統一的な運用
- ・ 窓口に設置しているパーティションの撤去



令和6年度 保育業務ワンスオンリーシステム検証事業

〔デジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装タイプ（TYPES）採択事業〕

【保育業務における給付・監査業務】

- 紙・アナログな手続きが多く、保育施設に大きな負担。
- チェックする自治体にも負担。



フロー・様式の標準化

施設管理P Fの整備
(R8年度以降全国展開)

給付管理
システム

監査
モジュール

連携

保育ICT
システム

確認

自治体

導入によるメリット

- <保育施設> こどもと向き合う時間の確保
- <自治体> 業務負担の軽減



【スケジュール】

時期	内容
R6.5.21	TYPES採択
R6.8.29	事業開始
R6.9.13	モデル施設（10施設）向け説明会実施
R6.10月～	試行検証
R7.1月～	テスト施設における導入テスト
R7・R8年度	引き続き検証

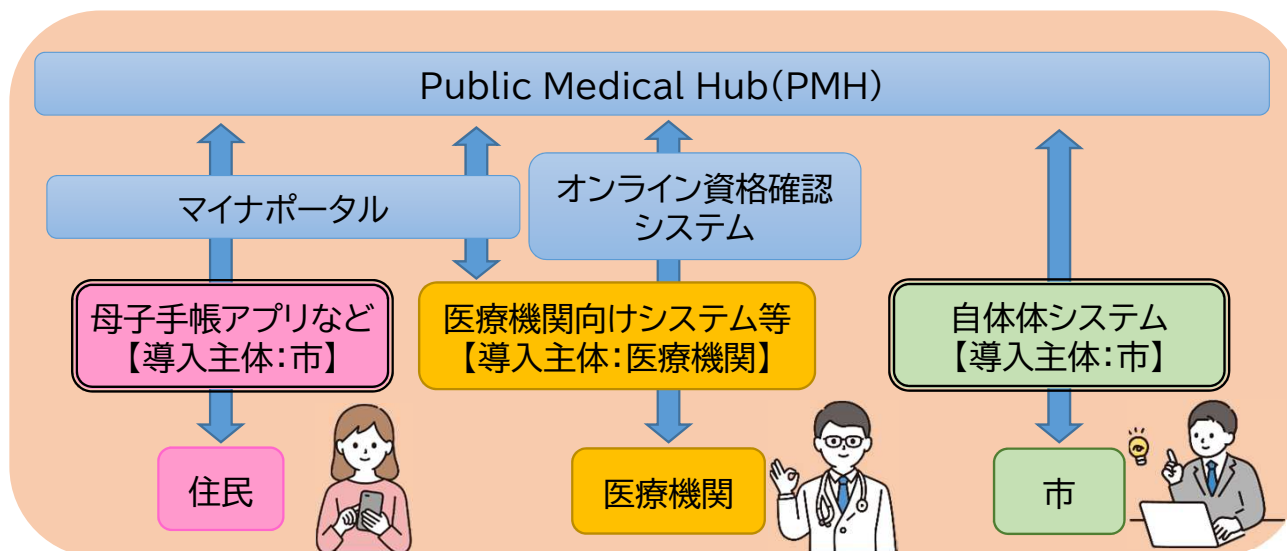
★第1回事業運営検討会を佐賀市で開催

〔日時〕 R6.10.7(月)10:00～11:00

〔内容〕 デジタル行財政改革会議・こども家庭庁を迎え、TYPES実施自治体（上尾市、箕面市、北九州市、佐賀市）の取組み・進捗について意見交換を実施。

(1) 令和6年度DX推進の取り組み

PMH (Public Medical Hub)



■ デジタル庁の令和6年度先行導入事業に採択
 令和6年度中に一部医療機関で利用開始
 (子どもの医療費助成・ひとり親家庭医療費助成)

令和6年度	令和7年度	令和8年度
システム改修 実証	実証	全国展開

PMHとの連携でできること

将来的に母子保健分・予防接種の分野で利用可能
 市民はスマホで問診・予診票を入力し受診
 里帰り出産時も受診状況や健診結果の情報を迅速に共有・活用ができる

健診・予防接種の受診券等の電子化

健診や予防接種の履歴閲覧・確認

保健師等の迅速な支援の実現

記録等のデータ登録による業務の効率化

電子請求等による事務の簡素化



(1) 令和6年度DX推進の取り組み

R5.6月 本格稼働開始

- ◎ 並び替え機能
- ◎ お知らせ通知
- ◎ 佐賀市プレミアム付地域振興券と連携
- ◎ ミニアプリ「イベントに参加しよう！」



R5.9・10月 バージョンアップ

- ◎ デジタル市民証
- ◎ ミニアプリ「子育てナビ」
- ◎ ミニアプリ「とびっくタウン」



R6.1・2月 バージョンアップ

- ◎ 口座振替受付システムと連携
- ◎ 粗大ごみ収集予約システムと連携
- ◎ 学校出欠連絡ミニアプリ「れんらくん」
- ◎ バルナーズ応援ミニアプリ



R6年度実装

- ◎ 6・7月リリース
 - ・図書館ミニアプリ等バージョンアップ
 - ・リカレントミニアプリ「Sagallege」
 - ・国スポミニアプリ「SAGA2024」



10月以降も、AIを活用した便利な機能やミニアプリなどのバージョンアップを予定!

(1) 令和6年度DX推進の取り組み

4つの機能を追加！(6月リリース)

図書館カードミニアプリ

👑 ミニアプリ利用ランキング
第1位(令和6年4月)



図書館利用カードを
最大5枚まで登録可能に。

こどもの分も
まとめて登録！



とぴっくタウンミニアプリ

掲示板で、**写真(画像)**や**文書(PDF)**
の共有が可能に。



SAGA
CITY

ごみ予約ミニアプリ

スマホから**簡単に粗大ごみの収集の予約**が可能に。

粗大ごみの収集日・
業者が自動で表示！



市民証

市民証を**佐賀市の観光名所等**
の画像に着せ替え可能に。



本人確認済 佐賀市民証 有効期限 2024/10/25



(1) 令和6年度DX推進の取り組み

国スポミニアプリ「SAGA2024」(7月リリース)

全国初!
国スポミニアプリ



新しいツールで大会情報をわかりやすく手軽に取得できます。



本日の開催競技が分かります!

佐賀市で開催する国スポ・全障スポの全競技日程や組み合わせなどが分かります。



駐車場の空き情報が分かります!

シャトルバスの時刻表なども確認できます。



観戦申込・チケット購入ができます!

競泳・飛込 応募期間：8月8日(木)～19日(月)
高校野球(硬式) 販売開始：9月中旬

学校出欠連絡ミニアプリ『れんらくん』》》》 学校・教育DX

Before -課題-

After-改善-

【保護者】 電話連絡



【教職員】 電話受付



担任への引継ぎ
データ入力

朝の時間は毎日が忙しい！



3つの機能

1. 出欠や遅刻の連絡
2. 学校からのお知らせ
3. 行事予定等の掲示板

【保護者】 空き時間に連絡

【教職員】 電話対応大幅減・データ集計

8月22日現在 運用学校18校

- ▶ 登録者数 約4,100人
- ▶ 保護者からの連絡 約7,200回
- ▶ 学校からのお知らせ 約80回

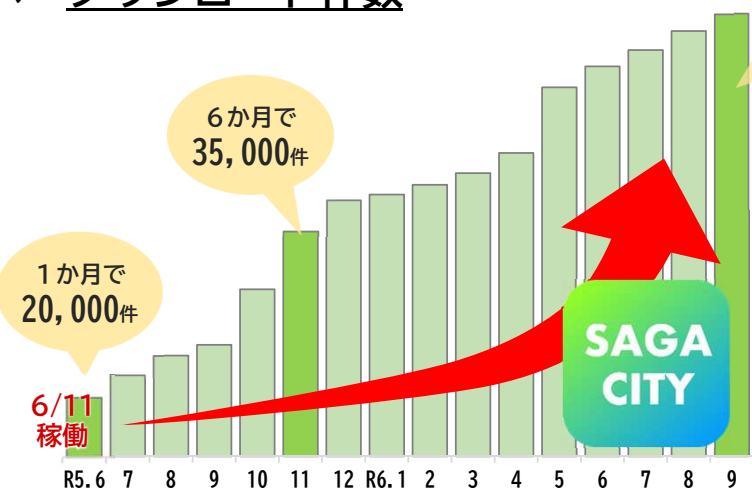
子どもと触れ合う時間の確保！

(1) 令和6年度DX推進の取り組み

数値で見る「佐賀市公式スーパーアプリ」の状況

(令和6年9月29日 時点)

✓ ダウンロード件数



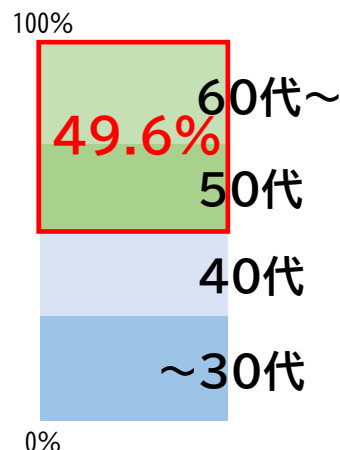
ダウンロード件数

54,670件

デジタル市民証
作成件数

16,919件

デジタル市民証登録者の約半数が50代以上!



市民同士で操作を教え合う講座

いただいた評価

- ◎ 年4回以上の柔軟なバージョンアップ
- ◎ 住民の声を広く聴き、機能追加
- ◎ マイナンバーカードとの連携
- ◎ 共助・共有・共創の仕組み
- ◎ 先進性・独自性のアプリ構築

✓ クリック数

ミニアプリ
クリック数
約 **91,600**回/月

※ R6.9/1~30

【クリック数 TOP 3】※ R6.9/1~30

1	国スポミニアプリ	26,730回
2	学校出欠連絡	26,209回
3	あなたの図書館	9,489回

佐賀市公式スーパーアプリの外部からの評価

第1回 全国シェアリングシティ大賞



特別賞

を受賞しました!!



地域課題解決や持続可能な自治体経営の実現のため、
公民連携や自治体独自で実施している優れた取り組みを表彰。

【評価ポイント】

- ✓ 産学公民、共助・共有・共創を意識した取り組み
- ✓ マイナンバーカードの活用、独自のアプリ構築など、他にはない先進性
- ✓ 災害対応や市民目線でのコンテンツづくりに取り組み



日本DX大賞2024



日本DX大賞
2024

優秀賞

を受賞しました!!

県内初!!

評価されたポイント

- Point 01 すべての自治体で使えるようなプラットフォームである。
- Point 02 市役所機能をアプリ内に集約するアプローチが革新的。
- Point 03 アプリを全国に広め、日本のDX推進に寄与してほしい。

日本DX大賞とは？

- ・日本のDX推進を加速するため、事例を発掘し共有するコンテスト。
- ・自治体や民間企業などの取り組み5部門からそれぞれ大賞が決定。
- ・132件エントリーのうち、行政機関・公的機関部門は23件のエントリー。

主催 日本DX大賞実行委員会
(一般社団法人日本デジタルトランス
フォーメーション推進協会 外2社)

後援 総務省、デジタル庁、経済産業省、
一般社団法人生成AI活用普及協会

共催 サイボウズ株式会社、アステリア
株式会社など



(2) スマートシティ推進方針（仮）の策定

①次期方針の概要

- ・スマートシティ宣言（令和4年7月）から2年が経過し、佐賀市DX推進方針の終期はR7.3月。
- ・佐賀市版DXを進めた先にあるスマートシティを目指すため、各分野横断的なデジタルサービスや各種データの活用、官民協働を含めた方針を策定。

【対象期間】 2025年度～2028年度の4年間

【目的】 Well-Being（地域幸福度）の向上

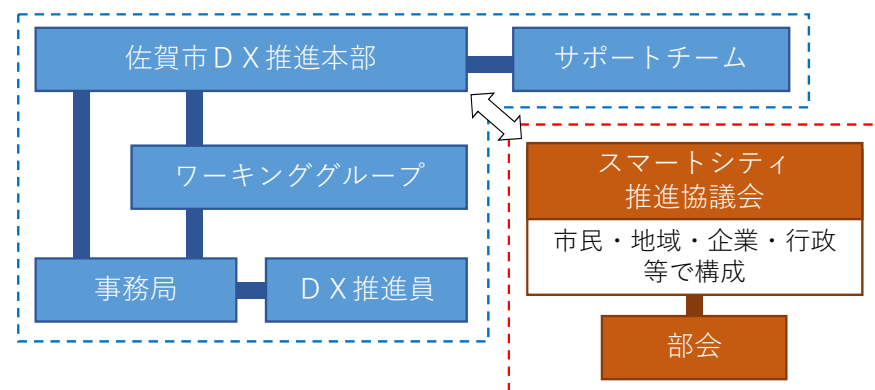
②改定のスケジュール

- ・～R6年12月 次期方針素案の作成
- ・R6年12月 改定の経過報告（総務委員研究会）
- ・R7年1月 パブリックコメントを実施
- ・R7年3月 改定の報告（総務委員研究会）
- ・R7年3月末 次期方針の策定

②R6年度第1回スマートシティ推進協議会（R6.9.25）開催

- ・防災、農業、子育て、ITなど各分野で活躍する委員との意見交換
- ・各分野のデータを整理、整頓し、掛け合わせて、新サービスを創出
- ・行政のみならず、市民や企業がデジタルやデータを使いこなせることが重要「シビックテック」
- ・いつまでも「デジタルと紙の併用」ではなく、デジタル化で効率化、便利になるものは、デジタルへ移行を進める

■ スマートシティ推進協議会について



①設置目的

行政・地域・市民が一体となって、地域経済の活性化を図り、暮らしや生活がより便利に、より快適に、そして生活に合わせた多様な柔軟な働き方ができるような『スマート・ローカル！SAGACITY』の実現に向けた取り組みを推進

②協議会メンバー

メディア、金融機関、大学、IT企業、地域団体、行政等

(3) 基幹系情報システムの標準化

1 これまでの進捗

現行業務と標準仕様書との差異分析（令和4年度～）

標準化対象システムごとに差異分析を実施中（標準準拠システムへの移行に伴い必要となる業務の変更内容を洗い出す）
令和6年9月末時点で20業務中1業務未完了

システム導入に向けた予算措置（令和5年9月～）

基幹行政システム（SHIPS）・学齢簿システム・戸籍システム（戸籍附票含む）・選挙人名簿管理システム・健康管理システムが措置済
※SHIPSの対象業務：住民記録、印鑑登録、税務（滞納除く）、就学事務、国民健康保険（収納）、後期高齢支援、国民年金、児童手当、子ども・子育て支援

システム導入（令和5年12月～）

【SHIPS・学齢簿システム】

令和6年5月7日に履行期限等を変更して2回目のプロポーザルを開始、4社が参加表明、審査の結果㈱RKKCSを選定

【健康管理システム】

令和6年7月29日にシステム調達のためプロポーザルを開始、1社が参加表明、審査の結果㈱両備システムズを選定

【選挙人名簿管理システム】

令和6年7月18日に現行システムベンダの㈱ムサシと契約締結

基幹系情報システム標準化ワーキンググループ担当者会議（令和6年5月～）

標準化に関する情報や課題を共有することで、各システムの標準化を計画的かつ効率的に進めるために実施
令和6年5月24日に第1回、8月23日に第2回を開催

(3) 基幹系情報システムの標準化

2 今後の予定

SHIPS・学齢簿システム・健康管理システム・戸籍システム（戸籍附票含む）

システムベンダーと契約締結後、データクレンジング、環境構築等の作業に着手

選挙人名簿管理システム

データクレンジング、環境構築等の作業を計画的に実施

その他の標準化対象システム

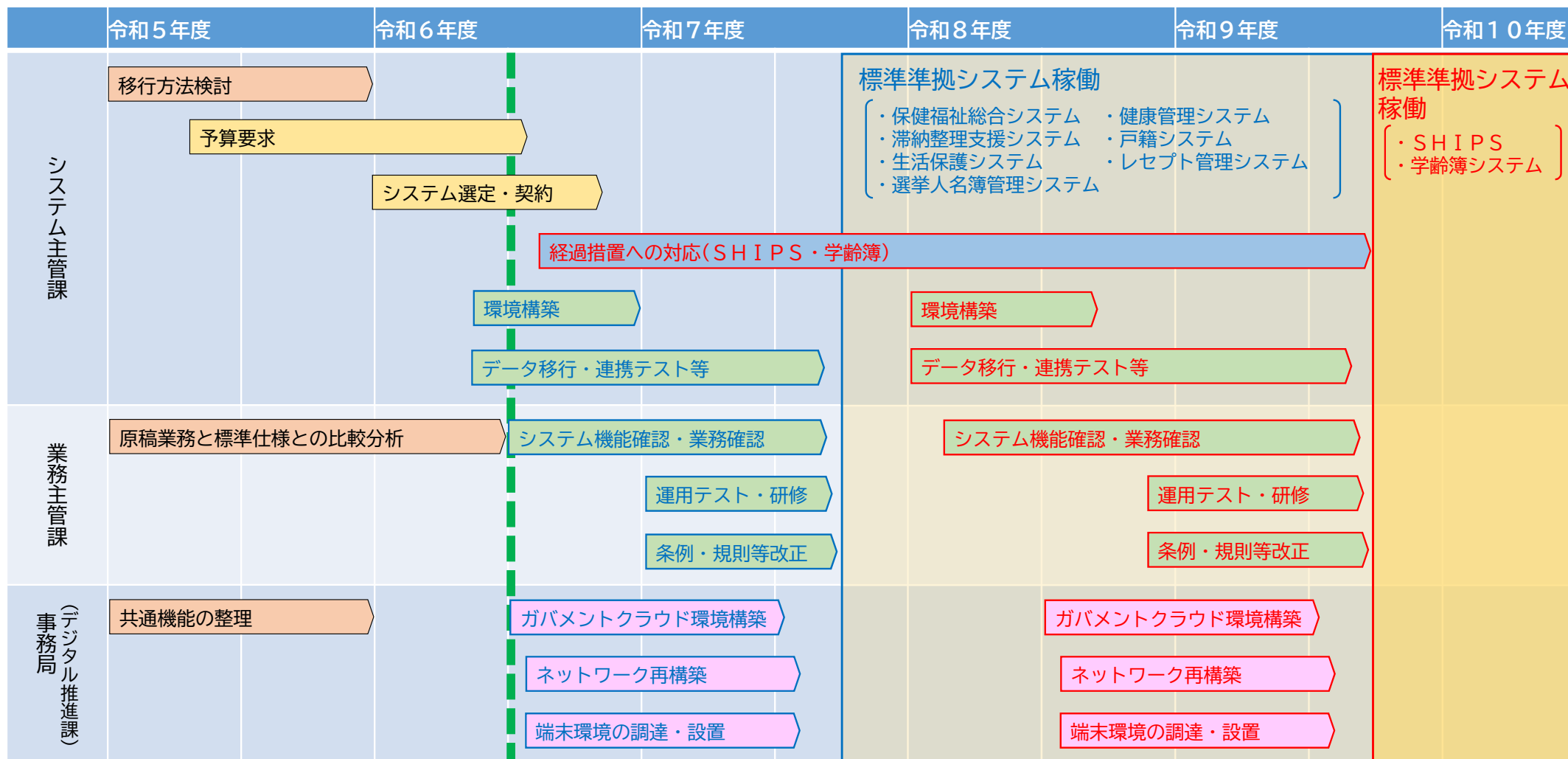
現行システムベンダーと調整を行い、システム調達費用の予算要求



- ・国の動向にも注意を払って不測の事態に備え、計画的に標準化を進める
- ・各システム主管課と密に連携を取りながら、引き続き、ベンダーに対し計画的な標準化実施を働きかける

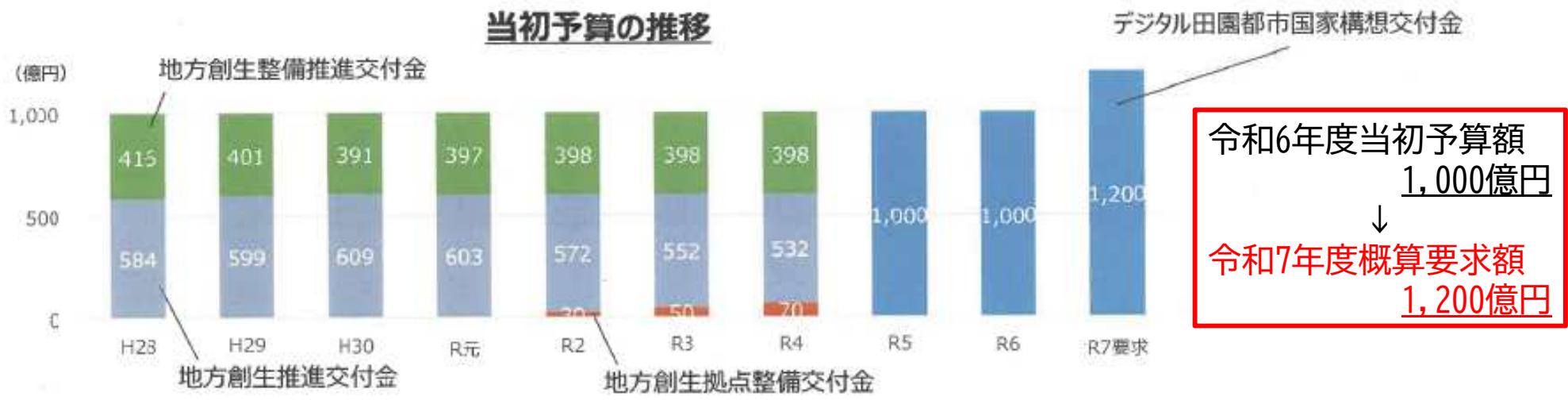
(3) 基幹系情報システムの標準化

3 標準化の全体スケジュール






参考資料

デジタル田園都市国家構想・地方創生予算 令和7年度概算要求の概要（内閣官房・内閣府）から抜粋



デジタル実装タイプ1/2/3等：制度概要

今年度
(R6)

目的	デジタルを活用した意欲ある地域による自主的な取組を応援し、「デジタル田園都市国家構想」を推進するため、デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた地方公共団体の取組を交付金により支援										
概要	デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上に向けて、以下の事業の立ち上げに必要な経費を <u>単年度に限り支援</u> 【TYPE1】他の地域等で既に確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取組 【TYPE2】オープンなデータ連携基盤を活用し、複数のサービス実装を伴う、モデルケースとなり得る取組 【TYPE3】(TYPE2の要件を満たす) デジタル社会変革による地域の暮らしの維持につながり、かつ総合評価が優れている取組 【TYPES】「デジタル行財政改革」の基本的考え方に合致し、将来的に国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある地方自治体の先行モデル的な取組										
共通要件	①デジタルを活用して地域の課題解決や魅力向上に取り組む ②コンソーシアムを形成する等、地域内外の関係者と連携し、事業を実効的・継続的に推進するための体制を確立										
詳細	<TYPE別の内容> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; padding: 10px;"> <div style="width: 30%;">  <p>デジタル行財政改革 先行挑戦型 【TYPE S】</p> <p>デジタル社会変革型 【TYPE 3】</p> <p>データ連携基盤活用型 【TYPE 2】</p> <p>優良モデル導入支援型 【TYPE 1】</p> </div> <div style="width: 65%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #f8d7da; padding: 5px;">「デジタル行財政改革」の基本的考え方に合致し、国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある先行モデル的な取組</td> <td style="background-color: #f8d7da; padding: 5px;">事業費：5億円 補助率：3/4 + 伴走型支援</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #fff3cd; padding: 5px;">下記いずれかを満たし、総合評価が優れているもの ・新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓 ・AIを高度活用した準公共サービスの創出</td> <td style="background-color: #fff3cd; padding: 5px;">国費：4億円 補助率：2/3</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #fff9c4; padding: 5px;">データ連携基盤を活用した、複数のサービスの実装を伴う取組</td> <td style="background-color: #fff9c4; padding: 5px;">国費：2億円 補助率：1/2</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #d4edda; padding: 5px;">優良モデル・サービスを活用した実装の取組</td> <td style="background-color: #d4edda; padding: 5px;">国費：1億円 補助率：1/2</td> </tr> </table> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <対象事業（一例）> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>【TYPE2/3】 複数分野データ連携の促進による 共創型スマートシティ（金澤若松市）</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>【TYPE1】 書かない窓口 地域アプリ 遠隔医療</p>  </div> </div> </div> <p>(注) 上記のほか、計画策定支援事業において、デジタル実装に取り組もうとする地域の計画づくりを支援し、地方創生テレワーク型において、サテライトオフィスの整備・利用促進等を支援。</p>			「デジタル行財政改革」の基本的考え方に合致し、国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある先行モデル的な取組	事業費：5億円 補助率：3/4 + 伴走型支援	下記いずれかを満たし、総合評価が優れているもの ・新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓 ・AIを高度活用した準公共サービスの創出	国費：4億円 補助率：2/3	データ連携基盤を活用した、複数のサービスの実装を伴う取組	国費：2億円 補助率：1/2	優良モデル・サービスを活用した実装の取組	国費：1億円 補助率：1/2
「デジタル行財政改革」の基本的考え方に合致し、国や地方の統一的・標準的なデジタル基盤への横展開につながる見込みのある先行モデル的な取組	事業費：5億円 補助率：3/4 + 伴走型支援										
下記いずれかを満たし、総合評価が優れているもの ・新規性の高いマイナンバーカードの用途開拓 ・AIを高度活用した準公共サービスの創出	国費：4億円 補助率：2/3										
データ連携基盤を活用した、複数のサービスの実装を伴う取組	国費：2億円 補助率：1/2										
優良モデル・サービスを活用した実装の取組	国費：1億円 補助率：1/2										

(3) 今後のスケジュール

年度	令和4、5年度	令和6年度
1	<p>『スタートアップ期』</p> <p>★ R4.7.26「佐賀市スマートシティ」宣言 ★ R4.11スマートシティ推進協議会設置</p>	<p>スマートシティ推進の『本格実施』</p> <p>デジタル田園都市国家構想交付金デジタル実装タイプ TYPE 1、TYPE3の活用</p> <p>スマートシティ推進方針（仮）の策定</p> <p>各分野の「OODX」の推進：アクションプラン</p>
2	<p>①デジタルサービス創出</p> <p>各種ワーキンググループ（デジタルサービスの検討）</p> <p>デジタルサービス実装・創出</p> <p>・各部横断的な取組</p> <p>②データ連携基盤構築</p> <p>データ連携基盤実装準備</p> <p>データ整理・活用、データ連携基盤等の活用</p> <p>・データ連携基盤実装 ・データ利活用・EBPM・オープンデータ化</p> <p>・データマネジメントシステム構築</p> <p>③DX人材育成</p> <p>DX推進員へのDX研修</p> <p>DX人材育成の強化</p> <p>・地域情報化アドバイザー等による研修会の実施</p>	<p>5月 5月 9月 10月</p> <p>← →</p> <p>DX関連事業に関する調査 政策調整監会議 各分野OODX事業の提案 予算化に向けた協議</p> <p>OTAムレビュー 10月 予算要求</p>
3	<p>佐賀市DX推進本部会議</p> <p>・重点取り組み等まとめ ・DX推進進捗報告 ・次年度の取り組み（案）</p>	<p>★ 第1回 4月 DX推進の取り組み</p> <p>★ 第2回 10月 DX推進の取り組み （進捗報告・次年度予算検討）</p> <p>★ 第3回 2月 R7年度の取り組み方針（案）、スマートシティ推進方針（仮）</p>

今後、意識して取り組んでいただきたい事項

- ◆デジタル田園都市国家構想交付金の活用
 - ・R7年度当初予算要求時の財源として検討
- ◆データ整理及び利活用
 - ・データ・マネジメント・システムでの利活用、オープンデータとしての公開によるシビックテック推進
- ◆窓口業務改革推進室を中心とした窓口DXの推進
 - ・市民生活・保健福祉・子育て支援各部、各支所で積極的に取り組む。
 - ・別途、全庁的にオンライン申請に積極的に取り組む。
- ◆佐賀市公式スーパーアプリの各分野での活用
 - ・アプリDL数やデジタル市民証登録数の増加に向けた活用方法の検討
- ◆スマートシティ推進方針（仮）の策定
 - ・各部署における、DXを一つのツールとした主体的な活用
- ◆基幹系情報システムの標準化
 - ・国やベンダーの動向を踏まえた計画的な対応